

開催日時	令和6年2月16日(金) 19時00分～21時10分
開催場所	web
出席者	間瀬、山本、小森、小山、木澤、永嶋、正木、山口、伊藤、井貫、桑山、成田、岩田、中谷、熊谷、藤、有吉、樋笠、水田、中川、岩井、鮫島
欠席者	
記録者	中川
議題1	会長報告
【内容】	<p>・会長行動録(主なもの)</p> <p>1月は協会長の研修会があった。 協会役員と報告会、検討会が行われた。 1月28日兵庫JRAT活動報告会出席。 1月29日田中昌史全国後援会の兵庫県の監事の調整を行った。</p>
議題2	兵庫県下に勤務する理学療法士のデータベース化事業
【内容】	<p>目的:会員の有無を問わず、どのような場所で活躍されているかを把握する。 2022年郵送でアンケート発送し、490施設から回答。 2023年10月支部役員に協力要請。287施設追加回答を得た(合計777施設)。 ＜データベースに入っている情報＞ 各施設の基本情報、各施設の付属情報(回答者の氏名と連絡先、所属支部、理学療法士が携わる内容。 各施設の理学療法士在籍情報:在籍人数、常勤非常勤の内訳、県士会の非会員者数。 ＜データベースの精度・信頼性＞ 回答率67.9% 医療機関回答率67.9% 回答内容について:二重回答された施設が散見され、回答時期によって回答内容が違う施設がある。 ＜データベースの効果の一例＞ 6764人の内非会員1673人。 ・医療機関限定では1668人そのうち非会員270人。 ・1人職場について。 104施設、そのうち33施設が非会員のPT。 ・医療機関は入会率が高い可能性。 ・支部別で分析。東播磨35%強で非会員の割合が多い。 ＜データベースによってなにができるようになるか＞ 各施設に勤務する理学療法士に視点を置いたデータベース。 トップが代表者ではないことが見えた。 非会員しかいなかった施設にアプローチが出来るようになる。 ＜提案する活用方法＞ 情報発信 ネットワーク ＜運用と管理の課題について＞ ・管理の責任の所在について ・運用範囲について ・会員の情報と会員外の情報について ・データの活用ルールについて。定期的な更新が必要3年後か5年後毎くらいか。</p>
【決定事項】	<p>どのような資料があるのかラインワークでアップする。 会員と非会員とを合わせて外向けに対するデータを作成していく方向。 そのうえで運用方法を考えていきたいと思っています。 担当理事を通じて連絡を取っていく。</p>
議題3	審議事項: 令和6年度予算案
	<p>先月提出の予算を修正。 ・保健福祉部。903000円 2022年度から比べると対面の研修会を増やした。担当者の打ち合わせについて計上した。</p>

5つの研修会に協会員外に開放するので相殺すると上限に近い予算になっている。

・資料調査部 731000円

データベース事業について部員に対して手当をつける。

諸手当の活動費を10人分6日分つける。

・東播磨支部 56000円

収入の部の見込みを上げていなかったの修正をかけている。

支部長と相談して減額した。

・理学療法講習40万円上がる形となる

認定理学療法士の講習会を多くの講師にお願いするための活動料が挙げられている。

参加費2万円を予定しているの、最終的には増額分はペイできていると思っている。

・収支差額/会費収入は95.2%。臨時の1年の事務職員経費を除けば84.9%。

【決定事項】

予算は来月で決定となる。

それまでに資料共有のところで1か月見てもらおう。

疑義がある場合はラインワークスでやり取りをしていく。

議題4 審議事項: 新人対象研修会について

【内容】

・藤理事

新人研修会の予算をどこが持つか話し合い、生涯学習部が持つことになったので、まだ予算に入っていない。

卒業後教育部からの引きつぎが不十分だった。

129000円増額となる。

【決定事項】

基本的には昨年したので、新人研修説明会を予算より早くしてもらえればと思います。

会長、事務局長が話すものに予算は要らない。

その上で予算を再度提出する。

議題5 審議事項: 旅費及び講師謝礼等、諸手当支給規則(案)

【内容】

諸手当は以下の通り支給。

事業運営にか関わった場合、4時間未満3000円4時間以上6000円。

・謝礼のランク分け

Aランク、連、門認定理学療法士。

Bランク登録理学療法士。

技士長、課長などはAランク、係長・主任はBランク。

会員演習、実技指導を新設。1コマ当たりの基準額で2コマ以上の場合には2コマ以上を50%とする。

【検討事項】

学術局で検討する。

その後、ラインワークルにあげる。

2月中に学術局で取りまとめてもらって、理事会で3月に挙げてもらう。修正は事務局で

議題6 審議事項: 但馬支部 支部長代行について

【内容】

但馬支部 支部長代行について

但馬支部長に阿部氏を擁立している状況。

規定では副支部長が代行を行うとあるが、急遽であったということと支部長経験が阿部氏が適任と考える。

【決定事項】

承認。

議題7 審議事項: 代議員・理事連絡会(仮)について

【内容】

代議員の有志と理事の意見交換の機会を設けて終了した。

代議員・理事連絡会は会長直下に置く。

連絡会の運営方法

支部(支部長、代議員)と理事会(副会長1名、担当理事)。

事業化するまでのタイムスケジュール

担当部署、予算の必要性、会長の指示、反映時期の目処

代議員の役割の文章化。	
議題8	審議事項:年間研修カレンダーや入会案内の装具並びに業務分担の明確化について
【内容】 県士会全体としてはペーパーレス化を進めているが、紙媒体も行っている。 案内作成、広報部、鈴木部長、熊谷。 入稿作業、広報部、支払いは総務部。 封入、発送作業を委託業者が実施。 3月下旬までに研修系化kを作成し、4月中旬から下旬に各施設に発送完了。 支出、293560円。	
【検討事項】 作業の流れの中に来年度の事務職員にも参加してもらう。 カレンダーは年2回発送する。どのようにするかは関係部署で検討。 予算は担当理事が事務に提出してもらって予算建てをする。	
議題9	審議事項:ミッション・ビジョン策定ワーキンググループ設置について
【内容】 目的:当士会が現在そして未来に向けて会員や社会に対して果たすべき役割とあるべき姿を言語化して会員や県民の皆様と共有して実行すること。 ・メンバー構成 20, 30, 40代の会員から男女各1名。 理事会から会長、副会長、常務理事各1名。 ・ミッション達成へのロードマップ 4月より月1回ずつ勉強会を開催。 県学会でミッションビジョン策定にシンポジウムを実施、メンバー募集。 メンバー以外も参加可能なワールドカフェ方式のミーティング開催。 会議の内容をふまえてワーキンググループ案を提示。 2024年3月理事会に提出。	
【検討事項】 県学会でシンポジウムが出来るか準備委員会で検討する。	
議題10	協議事項:認定スクールトレーナー制度 第1回養成講習会受講者推薦
【内容】 日本理学療法士協会に1名推薦する。 日本理学療法士協会から補助は出ない。 一般公募で応募するか、理事会で出すのか。 西宮のスクールに参加している人が手を挙げそうな気がする。 公募をしてその中から選ぶということでどうでしょうか。	
【検討事項】 それだけの先行投資をしても行こうという人をまず探す。	
議題11	協議事項:日本理学療法士協会長との意見交換会について
【内容】 協会長の秘書が保険について対面で行いたいと申し出があった。 県士会長と事務局長とで対面したいと思っている。 3月に日程を決める。	
議題12	協議事項:総会日程について
【内容】 7月第1週か2週にしているが、来年度は新人の説明会と抱き合わせにしてはどうかという意見があった。 6月29日(土)。 【決定事項】 6月29日は都合が悪い人が多く、6月30日か7月7日の場所を押さえてみる。	
議題13	報告事項
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も90万円県からマルチモビディティの予算がおりました。 ・能登半島地震に対して 災害支援部の方を中心に6チーム組まれた。4月以降も募集がかかる可能性がありますので、よろしくお願ひします。 費用弁済についても話を詰めています。 アーカイブの開放をしています。 PT協会の支援金の呼びかけをお願いします。 ・健康増進部の理学療法士の日の事業を啓発部が引き継ぐ話で進んでいます。 	

養成校の学生案内については難しいかなという意見です。	
次回の予定	日時:3月15日
日時・場所	場所:web
今後の予定	